



2007年4月1日発行
発行人：徳丸 公義
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通8 神港ビルヂング 509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子

～～3月例会報告～～

善塔 勝一郎(昭41法)

3月14日(水)夕刻より神戸トアロード「東天閣」にて例会が開催されました。私が行っただけでもこのところ数年3月例会はここ東天閣で行われており、オーナー中神先輩のご好意は並々ならぬものがあります。

神戸慶應倶楽部はいつ行っても腹の底からゲラゲラ談笑できてとても楽しみです。中でもこの3月例会は加えて北京王宮料理が素晴らしい。つまりものすごく美味しいのです。従業員の方々も礼儀正しく、かつ暖かい。



きましたが ポテトがひとつひとつ鮎にくるまって独立しています。隣に座っておられた中神先輩によれば炒めたり蒸したりして互いにくっついたりしないよう、当然ながら職人技があるのだそうです。ポテトの甘さをはじめとして東天閣の料理はすべて色彩豊かで上品だと改めて感心しました。



会は広瀬会長の挨拶、青戸先輩の乾杯のあと、にぎやかに始まりました。

伊勢海老を中心とする前菜盛り合わせ、ふかひれスープ、骨付き肉等が次々と出てきてその間に老酒が入り、口腹これ併せて満つることとなりました。



宴たけなわとなると参加40人ほどの怒号、悲鳴じゃなかった、哄笑、ほほえみ、大音声、普通の会話こもごも・・・いつものとおりの盛況です。また久しぶりに出席された方の近況報告等もありました。



時は流れお開きとなりました。いつものように「若き血」を合唱します。このときいつものように慶應義塾の良さ、つまり暖かさを感じます。また来月の再会を約し、あるいは願いつつ夜風に吹かれて帰りました。



終わりに近づくとポテトの出番です。初めて気づ



「緒方洪庵」に学ぶこと (その三)

浦上 忠文 (昭44政)

若き洪庵の置手紙は、漢文で書かれて
いる。

私の解釈による要旨はつぎのような
ものである。

「この世に生を受けて十六年。何をなすこともなく過ごしてきて申しわけありません。この度、医学を学びたく思います。例え聖人でも賢人でも、病気になれば、どうしようもありません。病気を治す医師は尊い仕事です。人々を助ける仕事です。私は、もともと身体が弱く、武士には向いていません。三年前大阪に滞在した時から蘭方医学というものを知り医師の道を志しました。これより三年の時間を頂ければ、必ず立派な医師になれるように頑張ります。なにとぞお許し下さい。私の志を解って頂きたいです。三年間勉強して立派な医師になって、お父さんの喜ぶ顔が見たいです」

胸を打つのは、すべての人のために尽くしたい、自分の欲するところを貫き通したいといういちぢきである。父親に懸命に許しを乞う素直さと孝行心である。

洪庵は大阪に出て、足守藩の蔵屋敷に入る。しばらくして大阪に赴任してきた

父親は、家出を深くとがめなかった。洪庵の揺るぎの無い志に心を打たれたのだった。

洪庵は、中天遊という学者が開いていた、蘭方医学の塾に入る。医学と共に、物理や化学も学んだ。後に、医家となった洪庵が開いた「適塾」が、医学だけを教えるのではなく、広く科学や兵学までも学ぶ塾であったのは、中天遊の影響であらう。

洪庵は四年に及び、そこにある書物のすべてを学んだ。

天遊は「この上は、原書について深く学ぶが良い」と、江戸の坪井信道への入塾を勧めた。坪井信道は、江戸第一の蘭方医学の大家だった。洪庵は二十一歳になつていた。

洪庵は坪井塾で学ぶかたわら、義眼を



作ったり、写本をしたり、あんまに出たりした。父に学資を得ることが難しく、自ら働いてそれを補ったのである。

洪庵は破れた着物を着て、学び、働いた。それを誰も笑わなかった。貧苦に耐えて一心に学ぶ洪庵は、塾の誰からも好かれていた。やがて塾頭になり、信道から長崎行きを勧められた。

直接オランダ人から学べる長崎は、蘭学を学ぶ者の憧れの地であった。

次の年、日本は大きな飢饉に襲われた。悪疫も流行した。大阪では、大塩平八郎の乱があった。

学問を追求することだけが本意でない洪庵の気持ちは揺れ動いた。「もはや長崎修行をしている場合ではない」と、洪庵は足守へ帰ることとした。医学の道に入って十二年。大阪、江戸、長崎での修業を経て、洪庵は二十八歳になつていた。

一国一藩の利害を超えて広く国民に奉仕する医学を職業にしたい望みの洪庵に、郷里足守の地は狭すぎた。そこで、大阪に出て開業することを決意した。天保九年(千八百三十九年)の春のことだった。

(続く)

会員だより

《私、トットちゃん?》

青戸 統子 (昭29文)

小学校の担任の先生が国文学専門であったところから、読書や詩や俳句など豊かな指導、更に狂言を見に能楽堂へも連れて行ってくださった。よい先生を与えて下さった神様には本当に感謝であった。特に作文は「面白かった」「楽しかった」という言葉を使わないで、その気持ちが人に伝えられるようにしなさいと教えられ、苦労はあったけれど、おかげさまで語彙が豊富になり、その後の人生に計り知れぬほど役に立ってきた。

女学校は各小学校から1名しか入れないという難関であったが、付属と私達の学校からは15名ほどパスして親は大喜びであった。入学しても特に勉強するでもなく、相変わらず気楽に本ばかり読んでいたら、「来週から中間考査です。」の通達も、意味がわからぬままに突入。考査って試験のことだあ!と当日になってから初めてがってん。結果は目も当てられないこととなった。

気がつけば周りには物凄く賢い子ばかり!

ある日、国語の時間に、守るという字をモルと読みますと答えた子に、どうしてわかりましたか?との先生の質問。すぐ立ち上がって「はい、明治天皇の御製に“子らは皆 戦(いくさ)の庭に出ではてて 翁やひとり山田(やまだ)守らん“とありますので、そう読むのではないかと思いました。」(中学1年ですよ!)を聞いた時は、ヒューと椅子から転げ落ちそうになった。工作も糸鋸で自分で作らなければいけないと頑張って不細工な作品を提出したら、他の人たちは皆誰かに作ってもらっていた。

苦手な家政の時間。これも、トイレの掃除の仕方など、他の子が「はい、棒の先にボロ布を巻きつけ、塩酸を付けてこすります。」と答えるのに、エ!塩酸?と又してもひっくり返った。

授業はすすみ、戦時下燃料が無い時に暖をとるには?との先生の質問にハイハイと、綿入れ、ふとんなど、答えが出尽くした。私は2、3日前に読んだ本で、『それまで、せんべい布団しか知らなかった美代はお屋敷に奉公に上がって、初めて・・・』とあったのを思い出して、コレだっと手を挙げた。「まあ珍しい。ハイ貴女」と、私がひそかに小公女

をいじめる“ミンチン女史”と名づけた先生は、眼鏡をキラッとさせながら、このアホ娘がどうしたの?と言わんばかりにあてた。『あのオ、お煎餅』と言いながら、自分でもこりゃ又失敗かと、おせんべいのくずで暖かいわけが無い事に気がついたが、後の祭り!これで、“変わった子“の定評はゆらぎないものになった。

まあ、得意な学科もあり、何とか付いていっていた事は付け加えるけれど、一人っ子で世間の冷たさも知らず、勉強なんかしてないという言葉を実に受けてこれから散々な目にあう序曲だった。

やがて、疎開して更に優秀な女学校へ転校する。そしてトットちゃん全開となるが、又のことに。

《食べた、食べた～～!!》

川崎 洋子 (昭53文)

韓国で食べて来ました。あるときTVで東大門市場近くで「タッカンマリ」という鶏鍋を食べて「美味しい!!マシッソヨ」を連発していたのを見て是非食べたいと思っていました。地図を頼りに歩きに歩いてやっと見つけたのは 地元の人で満杯の店でした。表にテレビ取材の張り紙がしてあります。間違いなく、ここでしょう。案内されて座ると同時に鶏1羽が入ったお鍋を持ってきて火をつけると、はさみで鶏をチョッキチョッキ切ってくれます。どうもこの店は「タッカンマリ」だけのお店なので、座るとすぐにタッカンマリが出てくるらしいです。唐辛子、からし、酢、醤油?を調合してタレを作ってくれます。真っ赤っかで辛そう・・・。スープをまず一口。美味しい!!次に作ってもらったタレにつけて食べてみます。おや、これがなかなか美味しい。見た目よりも辛くない。白菜キムチがまたおいしい。鶏を食べたら細長い餅を入れて食べ、そのあとはうどんを入れて食べます。韓国のお餅もおうどんも 煮込んでもくずれません。お酒は、ビールはメクチュ、焼酎はソジュ、白い濁り酒はマッコリ、これもなかなかいけます。こんなに満腹でこんなにお酒を飲んでひとり1000円!!信じられないくらい安い。日本人が行かない店だから、安かったのかも知れませんが・・・。東大門からロッテホテルワール

ドまで地下鉄に乗って900W これも115円ほど。11駅もあるのに、安い！！

韓国で感心したこと。地下鉄では、さっと老人に席を譲ります。日本人が寝たふりして席を替わらないのとは大違い。道を尋ねるとわざわざ日本語ができる友人に電話してまで教えてくれます。スーパーでも韓国海苔の場所を尋ねると、案内した上「これがいちばん美味しい」と選んでくれました。さすが儒教の国、顔は無愛想でも心やさしい、これが私が感じた韓国です。

《老人力昂進症症例報告》

金刺 達夫 (昭42経)

一時、老人力という言葉が流行ったことがある(1998年度流行語大賞)。画家であり芥川賞作家でもある赤瀬川原平さんが言い出した。当時は自分にはまだ縁が無いと思ったが、大らかな前向きの姿勢に心から賛同した。路上観察でも知られた赤瀬川さんは三省堂新明解国語辞典の謎にも挑戦されている。赤瀬川さんのユーモア溢れるエッセイはわたしにとって睡眠導入剤だ。

さて、五十肩とも縁遠くなりしばらく老人力が停滞したつもりでいた。だが、つい先日、その進行を痛感させられる出来事があった。

この冬、家内の勧めでズボン下の代わりにタイツを着用している。これが思ったより具合が良い。暖かいだけでなく身が軽くなったような気がする。時には白鳥の湖の王子様になったような気分で爪先立って道を歩いている自分に気付き、危ない趣味に染まりかけているのではないかと感じることもある。

そんなある日、三宮の碁会所で碁を打っていた時のこと、小便に立ちファスナーを下ろしてからあるべき所にあるべき物が無いのに気がつき愕然とした。わがイチモツのことではない。その出口が見つからないのだ。なんたることか、タイツを後ろ前に穿いていた。あいにく大きい方は人が入っていて使えないため、穿きかえることが出来ない。とりあえず用だけは済ませて席に戻ったが、その日はとうとうそのまま通してしまった。家に帰って家内に話したところ、喜ぶまいことか涙を流して笑っている。そして言うに事欠きこう言った「こ

れからはオムツを着けて行ったら。」

なるほど老人力アップには若返りという側面があるかもしれない。良寛さんをイメージすると童心に返るというのも悪くない。だがオムツまで行くのはまだ早いだろう。今年は若返ってもせいぜい鼻ピアスぐらいに止めておきたいと思った。

(囲碁同好会と少しは関係のある話でした。)

《芦屋三田会で高島哲夫氏講演》

3月8日に開催の芦屋三田会・関西不動産三田会合同例会(於:ノボテル甲子園)で、当倶楽部会員のミステリー作家高島哲夫氏(昭48工)が講演。

「ミッドナイトイーグル」の映画化決定から制作に至る裏話や、出版に関する裏事情等とても興味深いものであった。

(記事:堀)

同好会だより

イーゼル会

《今月の絵》



井上 翠

《イーゼル会 絵画展のお知らせ》

イーゼル会では7月5日(木)~10日(火)の予定で第2回グループ展を開きます。

場所は三宮本通り、トアロードから東へ少し入ったギャラリー「ほりかわ」です。

第1回の開催から4年が経とうとしており、新しく加わった会員も含めメンバー全員がそれぞれの

努力の成果を発表せんものと張り切っておりますのでご期待下さい。

またイーゼル会の講師としてご指導頂いている梅地浩介氏の水彩画展が下記日程で催されますのでこちらの方もご覧いただきたくお願いいたします。

『梅地 浩介 水彩画展』

日時：4月15日（日）～4月29日（日）

12:00～18:00（月・火休廊）

場所：ギャラリー「カラー」

神戸市中央区山本通 2-13-10 北野ハンター坂

TEL&FAX 078-242-8021

KKJC

♪理子ちゃん三昧♪

浅沼 清之(昭36経)

3月24日(土)午後3時から、神戸酒心館ホールにおいて、ヨー・キムラ・トリオのコンサートが開催され、慶應理工出身の才媛のピアノ&ヴォーカル小川理子さんの応援に、広瀬会長夫妻ほか20名を超える会員が参加しました。1993年にスタートした、このトリオは、ドラム&ヴォーカル木村陽一、ベース石田信雄、そして、ピアノ&ヴォーカル小川理子という構成ですが、1900年代初めから40年代のジャズ演奏を得意とし、この日も、アメリカン・クラシック・ジャズを十分に堪能させていただきました。

理子さん得意の AmazinGrace は、ますます味が出て

きました。コンサートの後、館内の「さかばやし」にて、KKJC 会員、家族、友人等、ジャズ愛好家が集い、蔵の酒、旬の彩を楽しみながらの懇親会となりました。理子さんも、交流の輪に仲間入りして、和やかなひと時を楽しみました。



引き続き、翌日の25日(日)も、神戸新聞松方ホールにおいて、「Four Beauties

Play Piano」に出演し、2日連続の応援参加となりました。関西ジャズ協会と神戸新聞文化財団主催の企画ですが、小川理子さんのストライドピアノと、オーソドックスなモダンジャズ、華麗なクラシカルジャズ、それに、打楽器とピアノによるコラボレーションを加えて、四つのスタイルで織りなす、美女達の、豪華なピアノ演奏を楽しむことができました。

ゴルフ同好会

《懇親ゴルフ大会のご案内》

KLA(関西婦人三田会)とのジョイントゴルフコンペを下記の通り開催します。

古いも若きも男も女も初夏の一日楽しく白球を追いましょう。

日時：5月8日(火)

9:03 スタート(集合 8:30)

場所：タイガースゴルフクラブ

兵庫県加東市新定 275-144

TEL:0795-46-0111

(中国自動車道 ひょうご東条ICより7分)

費用：プレイフィー 15,000円

(キャデイ付、昼食、懇親会、賞品代など)

参加ご希望の方は、4月20日(金)までに世話人

(近藤)または事務局(糸海)までご連絡ください。参加者には、追って詳細をご連絡します。

世話人：近藤 正 ludy@oak.ocn.ne.jp

(Tel:090-8446-9382)

PC同好会

この度、倶楽部に Windows Vista が導入されたのを機に、4月3日に久しぶりに勉強会を開きます。まだ広く普及していない段階ですが、次号で勉強の成果ならびに解説を紹介できればと思います。

世話人：市川義人(昭57経)

各同好会の日程につきましては、事務局または世話人にお問い合わせ下さい。

～～4月度例会のお知らせ～～

日時：4月19日（木） 18：30～

場所：倶楽部ルーム

会費：3,000円

講師：東 靖人氏（塾高出身）

（姫路中央病院副院長兼付属 PET 画像センター所長）

『PET 画像分析によるがん等の早期発見』

最先端医療について詳しくご説明いただきます。

不安解消の為にもぜひとも聴講をお勧めします。



2007年4月号より、より美しく BRB をご覧頂くために、WORD ファイルを PDF ファイルへ変換してお届けすることになりました。

PDF ファイルを閲覧するためには、無料のソフト「Adobe Reader」が必要です。

比較的新しいパソコンをお使いの方は、「Adobe Reader」インストール済みの場合が多いのですが、もしインストールされていない場合は、以下のサイトの画面指示に従ってインストールしますと、以降は PDF ファイルをクリックするだけで、簡単に閲覧できるようになります。



<http://www.adobe.com/jp/products/reader/>

～事務局よりお願い～

- ◎ 例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、お申し込み後に連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂くことがございますのでご注意ください。
- ◎ 住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。
- ◎ 4月は年会費の振込月になっています。自動引落しの会員様は4月27日（金）に会費の引落としがございますので、口座及び残高の確認をお願いします。

～～今後の行事予定～～

《2007年度総会》

日時：5月29日（火） 18：30～

場所：蘇州園

会費：男性 9,000円

女性 8,000円

なお詳細につきましては、BRB5月号およびメールマガジンでお知らせいたします。



《お詫び》

2007年度会員名簿の水山 惠造会員の勤務先住所の記載に誤りがありましたので、名簿の訂正をお願いいたします。

普段、会の行事に出席できない方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。 堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

編集後記
○春が来てまた冬に戻り、また春が訪れるという異常気象のせいでしようか、いかなごの漁も少なくしてお値段も高値。この時期、町にはあの甘辛い匂いがあまり漂ってきません。春の風物詩が一つ減ったような気がして、寂しいですね。熱々のご飯に載せて食べるあの味・・・ごくり。
○能登半島に地震。こちらも異常気象のせいでしょうか。否が応でも十二年前の悪夢を思い出しそうです。一日も早い復興を願うばかりです。
(ほ)